

健康起因事故から 運転者と企業を守る

OCHISセミナー

11月7日

2019年(令和元年)10月28日(月曜日) (3)

トラック、バス、タクシーなど運輸業界で健康に起因する事故が後を絶たない。運行中の運転者が突然、意識消失するなど運転を継続できなくなり、重大事故となる例は全国で発生しており、運転者のみの責任にとどまらず安全管理責任を事業主も強く問われ、事業存続にも影響を及ぼしている。

運輸業界の健康管理で事故防止を推進するNPO法人「ヘルスケアネットワーク」(OCHIS、理事長 武田裕大阪大学名誉教授)は、健康起因事故防止の手始めは「定期健康診断のフォローアップ」として、運輸業界各社の安全・健康対策に取り組んでいる。

健康起因事故の要因が心臓疾患、脳疾患、消化器系疾患、呼吸器系疾患など多岐にわたるが、それぞれ健診で警鐘が鳴らされているにもかかわらず、事業主が健診後のフ

ォローを行わず事故に直結した例は数多い。ただ、運転者の健康状態をどう把握し、問題点にどう対処すればいいかを理解する事業主は少ない。

OCHISではこうした事業主や企業担当者らを対象に11月7日、大阪で「安全・健康対策へのアプローチ手法とマネジメント」をテーマに「OCHISセミナー」を開く。国土交通省の後援、全日本トラック協会、日本バス協会、全国ハイヤー・タクシー協会などの協賛で今回14回目。働き方改革が進む中で健康起因事故から運転者と企業を守るためのキーワードを得るセミナーとなる。

会場は大阪市北区の大阪大学中之島センター、定員100人。運輸交通・健康保険組合など関係者は資料代含む1人1千円。その他5千円。申し込み、問い合わせは06・6965・3666。